

中部経済同友会 第16回 1000人の声

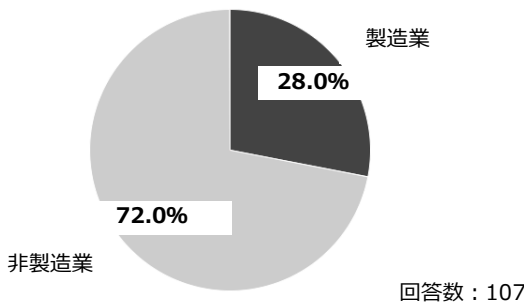
「ダイバーシティ推進に関するアンケート調査」

実施期間：2020年1月21日～1月28日 回答数：107件（回答率 41.3%）

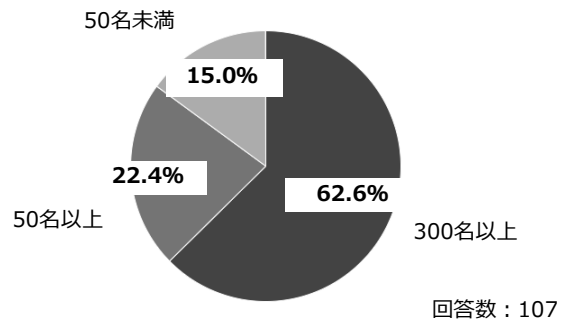
結果サマリー

- 約 8 割の経営者が、ダイバーシティ推進の必要性を認識。（ただし、そのうちの約 2 割の企業は、具体的な取り組みの実施に至っていない）
- ダイバーシティ推進の**最大の狙いは「優秀な人材確保」**。取り組み企業の半数が手ごたえ。組織風土の改革や社員の満足度向上など、組織内部への好影響もみられる。
- 新しい価値創出に結びつけた企業が推進した施策は、「育成方針の見直し」「経営層の意識改革、理解度向上」「IT活用による効率化」。
- **マネジメント層の意識改革がダイバーシティ推進の第一歩**であり、イノベーションまでつなげるには、精神論だけでなく**IT活用による実質的な工数削減も鍵**となる。

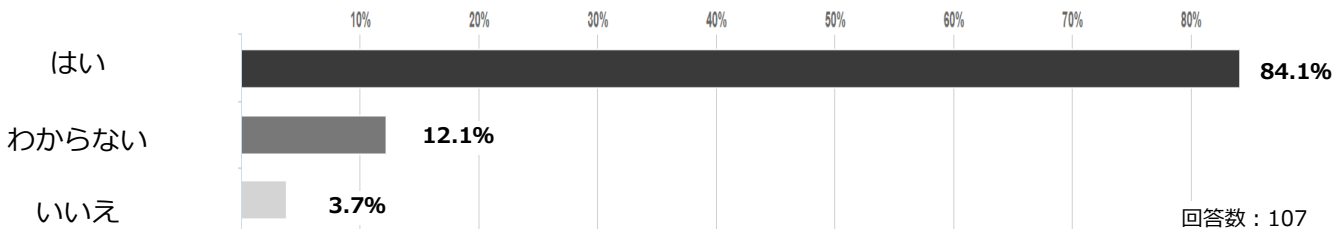
Q1 業種



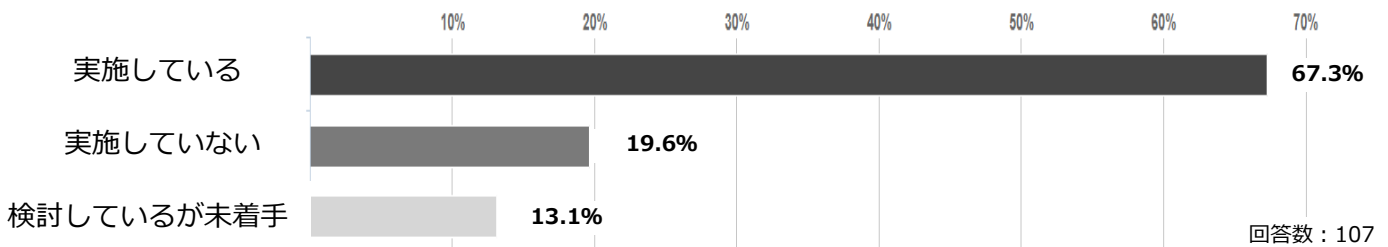
Q2 企業規模



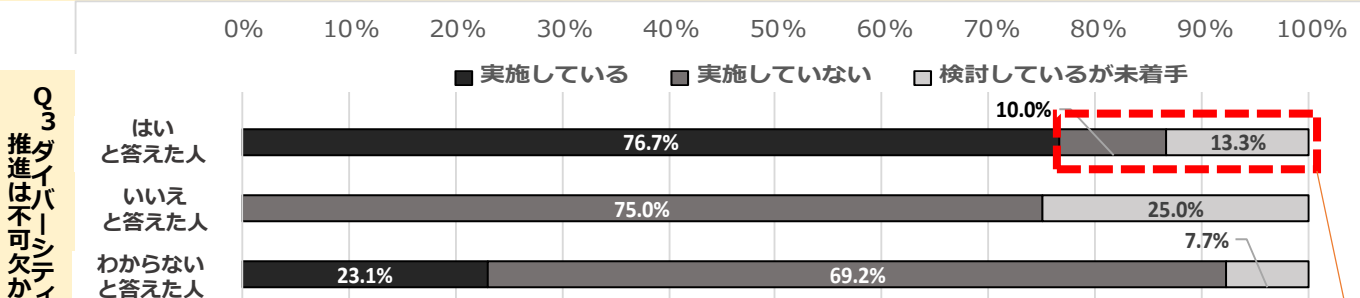
Q3 企業の持続的成長のために、ダイバーシティ推進は不可欠だと思いますか？



Q4 自社でダイバーシティ推進の取り組みを実施していますか



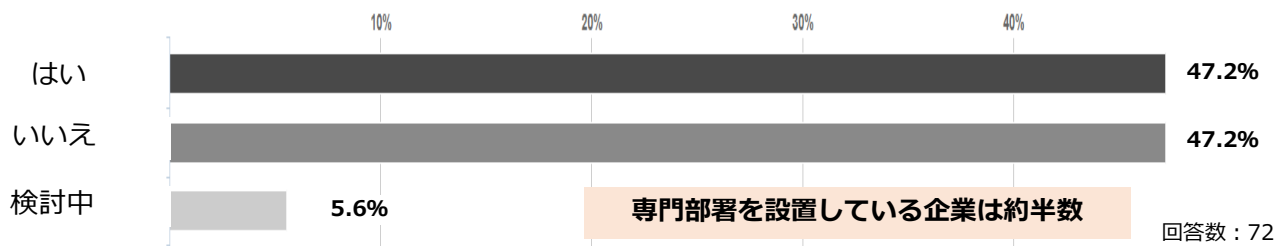
(Q3×Q4) ダイバーシティ推進に対する認識別の取り組み実施状況



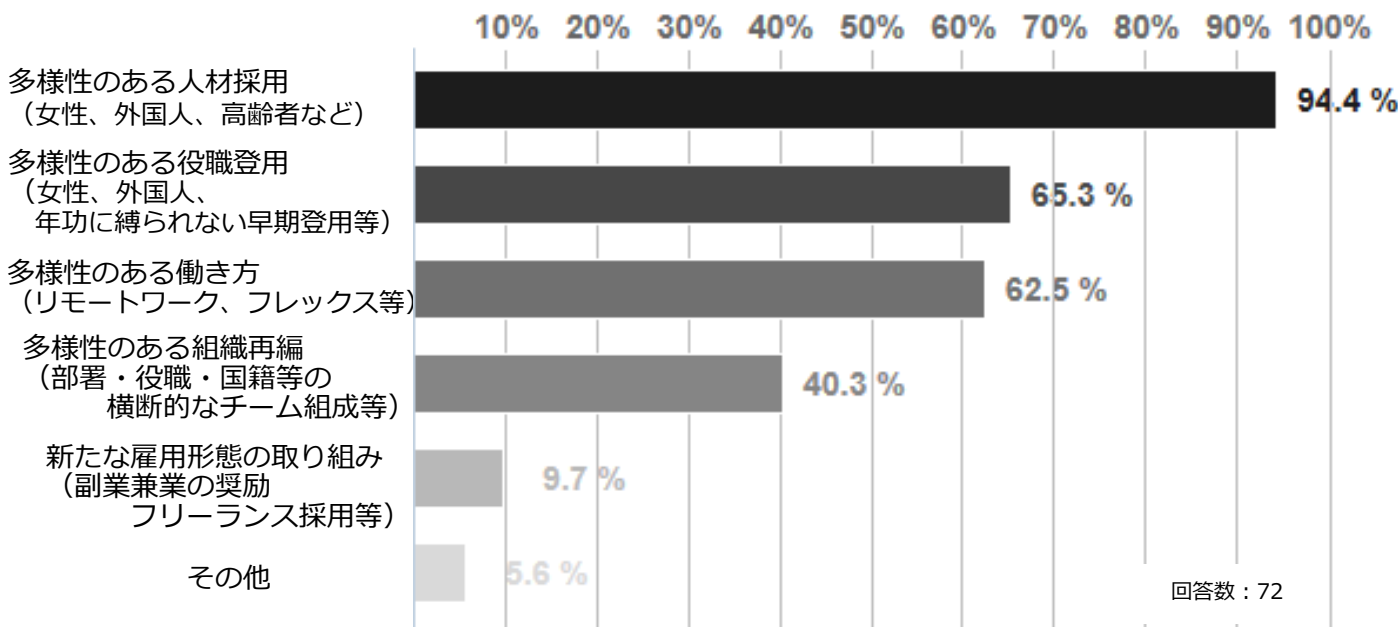
Q3
ダイバーシティ
推進は不可欠か？

ダイバーシティは不可欠と回答した企業の2割が未着手

Q5 ダイバーシティ推進に関わる専門部署を設置していますか？（Q4実施企業のみ回答）

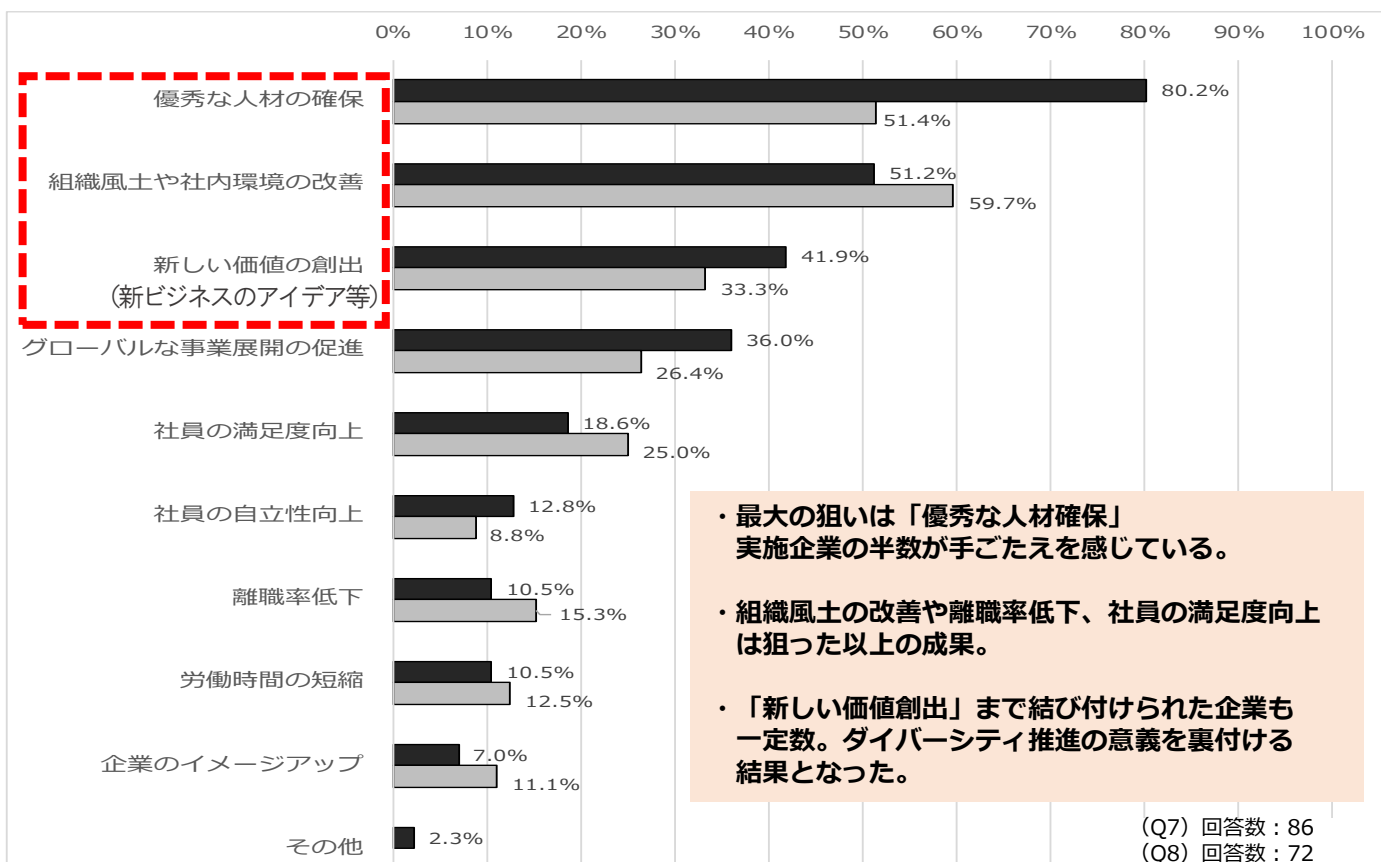


Q6 具体的に、どのような取り組みを行っていますか？（Q4実施企業のみ回答）

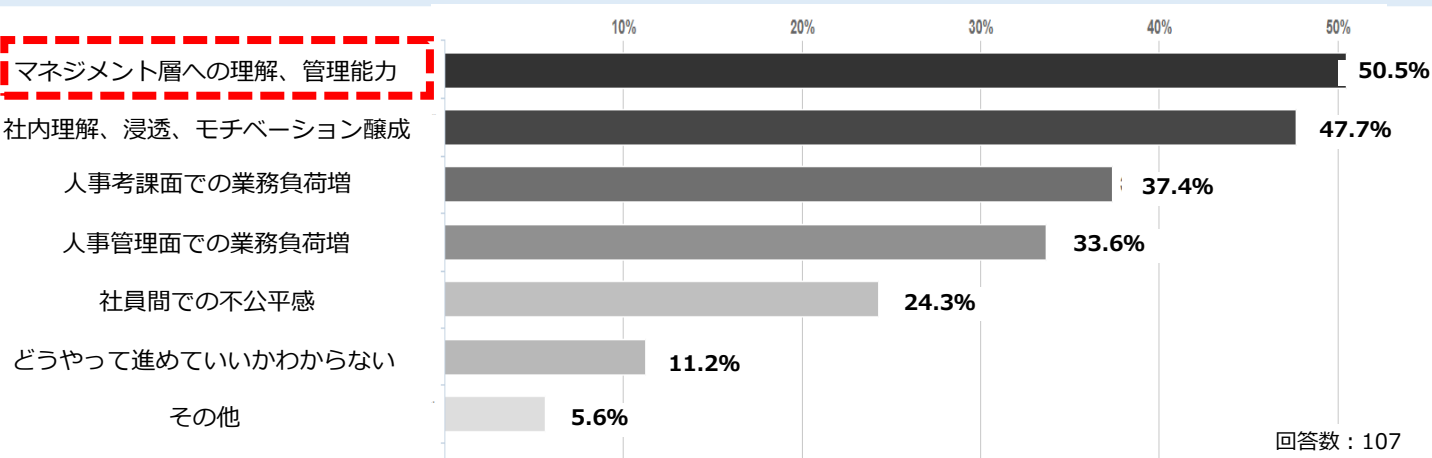


Q7 ダイバーシティ推進の狙いは？ × Q8 ダイバーシティ推進で得られた成果は？

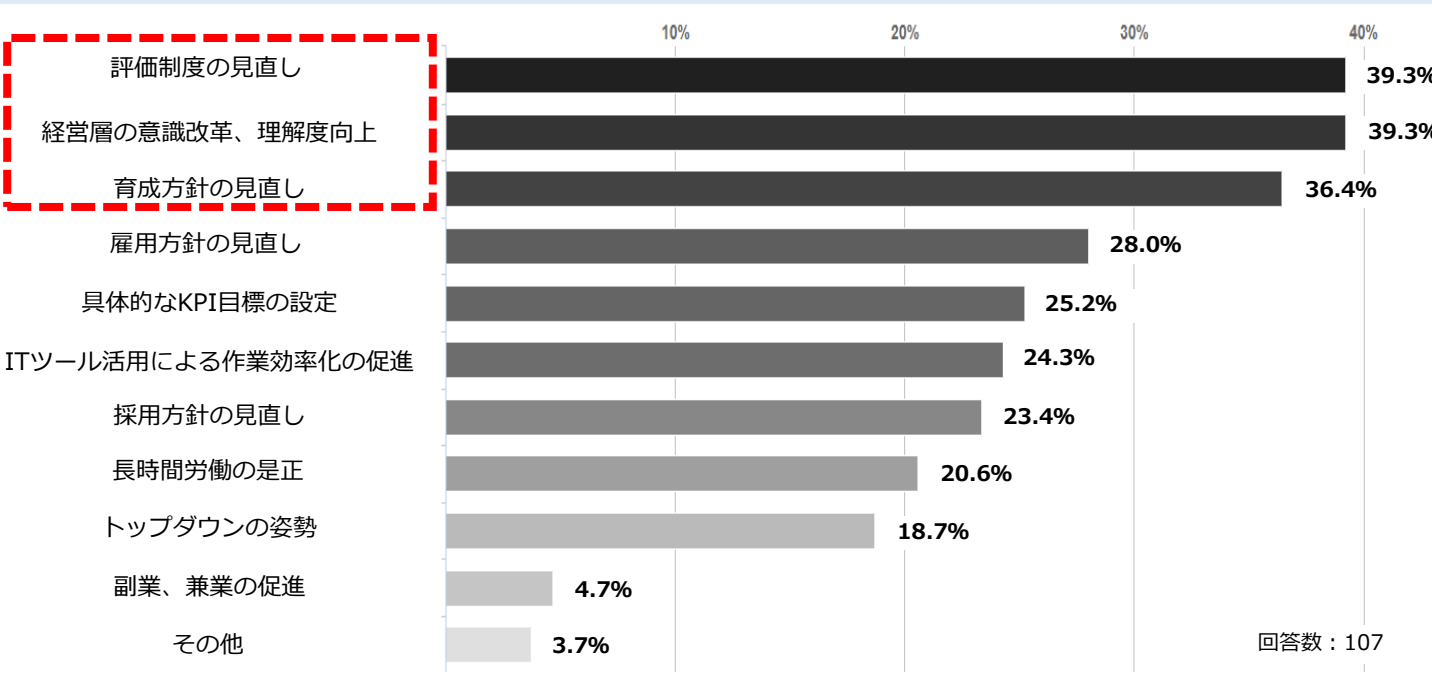
■ Q7ダイバーシティ推進に取り組む（検討する）理由は？の回答結果
 ■ Q8ダイバーシティ推進で得られた成果は？の回答結果



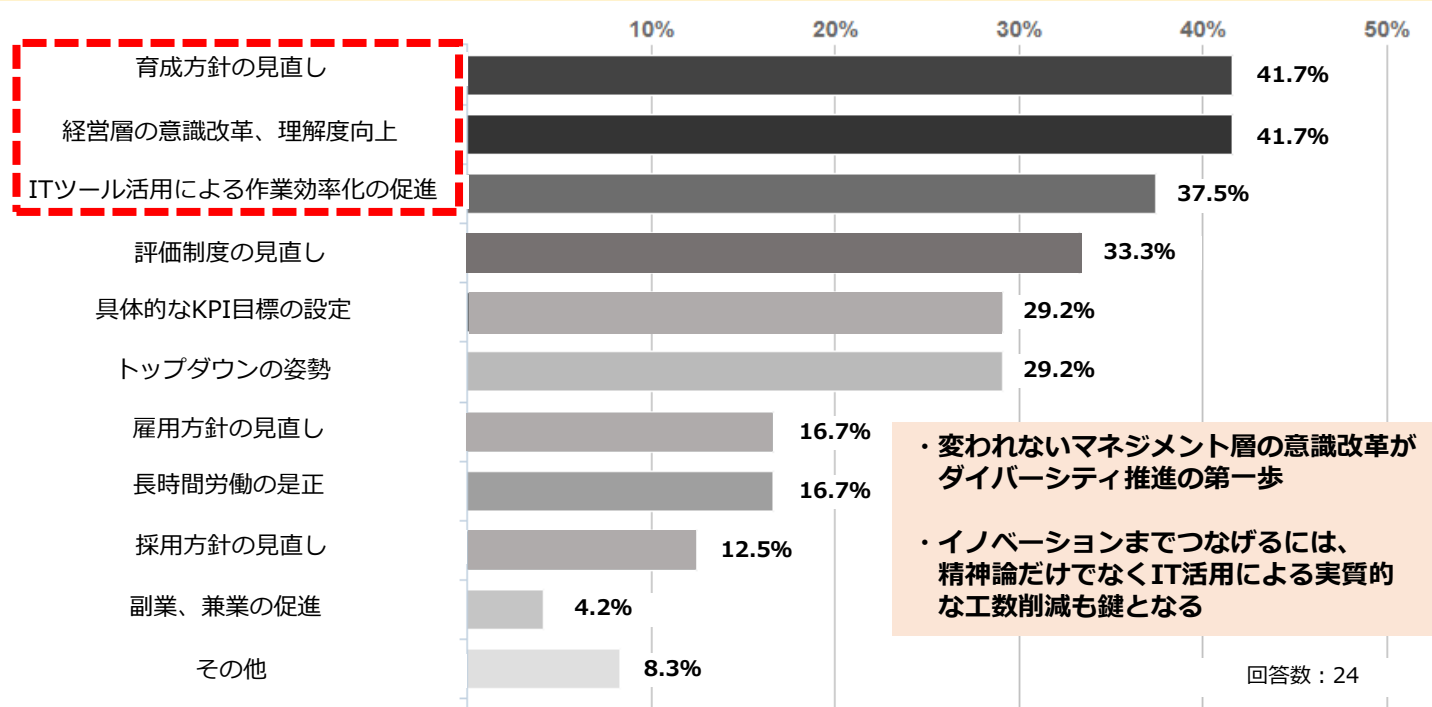
Q9 ダイバーシティ推進のうえで障壁となる(なった)ことは何ですか



Q10 ダイバーシティ推進のために効果的だと思われる施策はどれですか



(Q8×Q10) ダイバーシティ推進により「新しい価値創出」の成果を得た企業が「効果的」と考える施策は？



・ 変わらないマネジメント層の意識改革がダイバーシティ推進の第一歩

・ イノベーションまでつなげるには、精神論だけでなくIT活用による実質的な工数削減も鍵となる